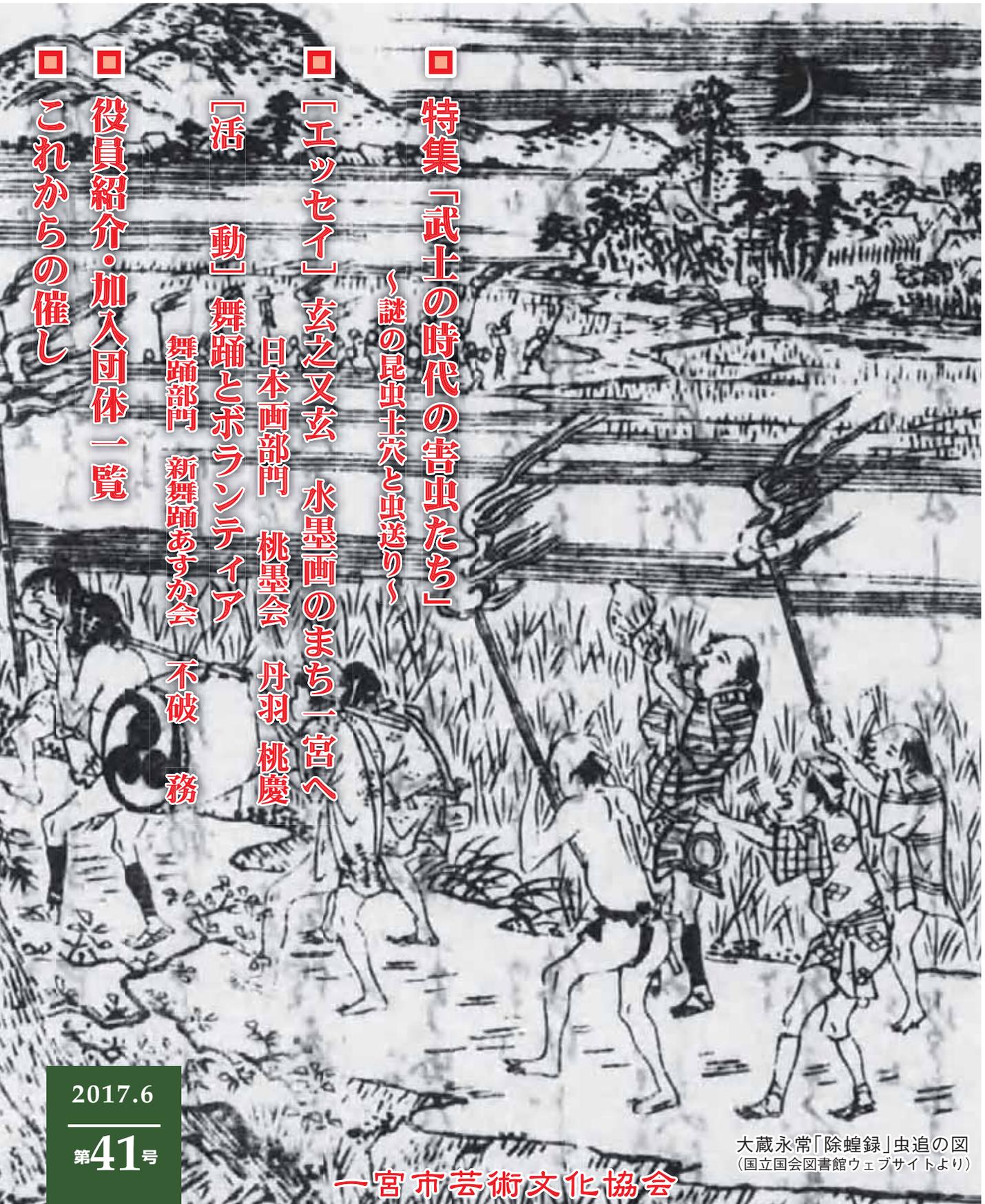


いちのみやの芸術文化

- 特集「武士の時代の害虫たち」
〜謎の昆虫土穴と虫送り〜
- 「エッセイ」 玄之又玄 水墨画のまち一宮へ
日本画部門 桃墨会 丹羽 桃慶
- 「活動」 舞踊とポランテイア
舞踊部門 新舞踊あすか会 不破 務
- 役員紹介・加入団体一覧
- これからの催し



大蔵永常「除蝗録」虫追の図
(国立国会図書館ウェブサイトより)

2017.6

第41号

一宮市芸術文化協会

ICHINOMIYA Arts and Culture Association

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

武士の時代の害虫たち 〜謎の昆虫土穴と虫送り〜

人間にとって、最も身近な動物というと、何を思い浮かべるでしょうか。ペットの犬や猫、家畜の馬や牛などを思う人が多いかもしれませんが、実は、数や種類だけでいうと、地球上にもっとも多い動物群は「昆虫」であり、私たちの身の回りのありとあらゆるところに生息しています。今回は、過去の一宮に生きた昆虫が教えてくれる歴史について紹介します。

埋められた島作害虫「ヒメコガネ」

〜大毛沖遺跡の類例から〜

一宮市大毛^{おおけ}にある大毛沖遺跡では、発掘調査時に検出された鎌倉時代頃の溝の近くで、細かな破片が詰まった直径約15〜25cm程の「穴」が9基確認されました（写真1）。この破片を顕微鏡で詳しく調べたところ、そのほとんどが、植物を食べるコガネムシの仲間、「ヒメコガネ」（写真2）の外骨格（甲羅の部分）であるこ

とがわかりました。ヒメコガネは、成虫がマメ類やブドウなど農作物の葉を食い荒らす害虫として知られています。大毛沖遺跡で見つかったヒメコガネは、周辺の畑作物を食べていたところを捕獲され、わざわざ穴を掘って埋められたと考えられています。有効な農薬がないこの時代、食物を求めてどこからともなく飛んでくるヒメコガネを人の力で捕まえて退治するのは、至難の業であったでしょう。この地に暮らした人たちの苦労が偲ばれます。



写真1 大毛沖遺跡の昆虫土穴（森勇一氏提供）



写真2 ヒメコガネ（森勇一氏提供）

遺跡の土の中には、土器や石器などの遺物だけではなく、このような昆虫の破片や動物の骨植物片、はては小さな寄生虫の卵まで、様々なものが残されている場合があります。そこから文献史料や考古遺物ではわからないような昔の情報が見られることがあります。一見、何の価値もないように思えてしまう遺跡の土の中には、動物や植物が豊かに語る、過去の一宮の歴史が詰まっているのです。

怨霊になった稲作害虫「ウンカ」

〜虫送りとサネモリ人形〜

害虫にはもう一つ、イネの害虫があります。代表的なイネの害虫は、ウンカやヨコバイ類（写真3〜5）です。江戸時代には、ウンカ・ヨコバイ類の大発生が享保・天保の大飢饉を引き起こす原因になり、多くの餓死者を生みました。当時はこの害虫を駆除する有効な方法は少なく、主流になったのは、水田に鯨油等の油を流してそこに虫を払い落とす注油法と、農村で行われた「虫送り」でした。「虫送り」は田植えが終わった頃に、お札を付けた青竹や、藁で作った人形などで虫を追い払う行事で、かつては日本各地で広く行われていました（表紙写真）。今も残る虫送りとしては、愛知県指定無形民俗文化財になっている、祖父江の虫送り（稲沢市・写真6）が有名ですが、一宮市内でも明治時代



▲写真3 トビイロウンカ
 下・写真4 トビイロウンカに食害された水田
 (愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室提供)



▲写真5 ツマグロヨコバイ
 (愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室提供)

頃までは虫送りが各地で行われていたようで、上祖父江の南外山^{みなとやま}地区では、松明や提灯、御幣をつけた青竹を持った人々の行列が、農道や木曾川の堤を練り歩く姿が見られたそうです。規模は縮小しましたが、虫送りは現在でも地域の各地で行われています。古くから受け継がれる一宮の民俗を伝える貴重な年中行事だといえます。

「虫送り」は地域色が強く、行事の内容も全国で様々ですが、多くの場所で虫送りの中心となるのは、「サネモリ」と呼ばれる怨霊の人形です(写真6)。この「サネモリ」のモデル



▲写真6 虫送り行事(稲沢市島本新田)
 (『祖父江の虫送り』口絵写真 稲沢市教育委員会提供)

は平安時代末期の武将、斉藤実盛(???)一八三とされています。実盛は戦の最中、乗っていた馬がイネに足を取られたところを討ち取られ、そのことを恨みに思って、死後にイネを食いあらす虫(ウンカ類)になったという伝承が残っています。ウンカ類は、背中部(前胸背板)が硬質で、まるで武士の鎧のようであることから、実盛公の伝説と結びついたと考えられています。ウンカやヨコバイは一匹では非常に小さな昆虫ですが、集団となってイネを食い荒らしていく姿に、昔の人々が人間の力では克服できない恐れを抱いていたことが想像されます。

一宮市内では、中世には神社や宿場・居館

を中心として一宮(真清田神社)や黒田、苅安賀などの村々が発展し、資料館のある起周辺でも土地の開発が進みました。江戸時代になると新田開発が進み、木曾川の御囲堤が築かれ、整備された街道沿いの町が発展していきました。人間は土地の開発や産業の促進にあたり、牛や馬など、様々な動物の力を利用してきました。中には人間にとって不都合な生き物もいました。現在に至る地域の歴史と文化には、かわりの長い人の暮らしに影響を与えた小さな動物の歴史が隠されています。

この夏、資料館では特別展「動物たちからみる武士の時代の一宮」を開催します。変動の時代を人間と共に生きた動物に関する資料から、一宮の歴史をのぞき見ることができます。

(一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 奥野絵美)
 ■注 市域には「虫祭り」「オンカ祭り」と呼ぶところもありますが、本文中では「虫送り」で統一しました。

■引用・参考文献

- 『一宮の民俗』一宮市教育委員会 1976
- 『財団法人愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 大毛沖遺跡』財団法人愛知県埋蔵文化財センター 1996
- 『祖父江の虫送り』祖父江町教育委員会 1993
- 『ムシの考古学』森 勇一 2012

■ご案内

平成29年度夏季特別展

「動物たちからみる武士の時代の一宮」

平成29年7月22日(土)～9月3日(日)

玄之又玄 水墨画のまち一宮へ

日本画部門 桃墨会 丹羽 桃慶



富山県水墨美術館にて

富山県には美術館としては珍しい「水墨美術館」があります。私は二度訪れましたが、そのうち一度は子供の水墨画展が催されていました。私自身、水墨画を趣味として四十年近くやってまいりましたが、子供の水墨画にハッとさせられました。いずれの作品も自由かつ奔放、とても新鮮でした。大人の細密な技巧のみの絵とは違い、個性がはつきり生きていて、これこそが水墨画の原点ではないかと思いました。

かつて郷土の誇り川合玉堂を輩出した一宮の現状はどうでしょうか。

玉堂亡き後、水墨画家として活躍した人は私の知る限り寥寥。僅かに佐々祥雲（一九一六〜二〇〇三・日本南画



川合玉堂「鶺鴒」(一宮市立玉堂記念木曾川図書館蔵)

院々友) ぐらいでしょうか。氏は一宮南画同好会、千秋南画同好会を指導され、水墨画の灯を現在に残しています。現在、市内の水墨画団体を見渡し、一宮市芸術文化協会登録団体として小生主催の桃墨会、一宮市レクリエーション協会所属の墨泉会、うすずみ会、一宮水墨会があります。諸氏それぞれに日々精進され、本市の水墨画の向上発展に勤めて居られます。しかしながら、市の美術世界、洋画、日本画(水墨画を除く)の存在、盛況から比べて水墨画はとも及びません。小生力及ばずとも過去二十年来、水墨教室で描き手の育成に努め、昨年も桃墨会展を開催し、いつしか第十八回目となりました。市の美術展へ出品



第30回全国公募水墨画大賞展会場にて (富山県民会館美術館)

「奥深げんいうえにも更に奥深またげんい境地」の意
玄之又玄

される水墨画作品も最近では十点近く出品されるようになりましたがまだまだです。これからは市内の既存団体や愛好者が一堂に会して、相互に研鑽できるようにしたいと念願するものです。幸い市内には一宮市博物館や三岸節子記念美術館、その他、展示場所に事かきません。川合玉堂展の単発に終わることなく、水墨画の描き手を育て、企画展と市全体の水墨美術展を開催するなど、川合玉堂の郷土として恥ずかしくない誇れる「水墨画のまち一宮」を目指したいものです。

舞踊とボランテイヤ

舞踊部門

新舞踊あすか会 不破務

私が踊りと出会ったのは、一九六四年のオリンピックが東京で開催されることが決まり、日本中が五輪一色になっていた時代です。

東京オリンピック開催の一年前の夏、盆踊り会場のあちらこちらで五輪音頭や炭坑節が盛んに踊られ、地元では古くから伝わる起音頭も踊られていました。オリンピック開催という期待感も相まって、普段以上に踊りの楽しさや素晴らしさに魅了されたことを今でも覚えています。自分も踊りを真剣に学んでみたいと思ったのはちょうどそんな時でした。

最初は地元の民踊クラブに入会し、その後「あかつき流富美寿会」に移りました。そして一宮市芸術文化協会発足と同時に「新舞踊あすか会」と改名し、現在に至っております。

やはりというか当然ですが芸の道は考えていた以上に厳しく、並大抵ではない努力が必要です。教室では、芸は指導されて覚えるよ



尾西芸能祭(平成4年)

り盗んで覚えよという先生の指導方法の下、日々取り組んでいます。

踊りを学ぶようになった昭和四十年頃、現在は秋に開催されている「びさいまつり」の前身である「産業まつり」が三月頃に行われていました。尾西庁舎から御裳神社までの織物奉納パレードや尾西市民会館での芸能大会が行われていました。また、同じ頃、八月十四日開催の「尾西市民花火大会(現濃尾大花火)」で、小学六年

生の児童や婦人会の方、工場で働いている方も一緒になって起の街から起水天宮まで、パレードが盛大に行われたことは今でも記憶に残っています。

昭和五十年四月から「あかつき流富美寿会」は旧尾西市社会福祉協議会にボランテイヤ登録をし、本格的にボランテイヤ活動を始めるようになりました。当時、尾西地区の身体障害者スポーツ大会は各小学校区の持ち回りで開催されており、地元の小学校で地域の方や障害者の方と一緒に盆踊りを行いました。他にも福祉施設への慰問や地域の盆踊り会場への参加など、長年、地域の方と「踊り」を



身体障害者スポーツ大会(平成4年)

通して交流を行ってきました。

平成二十七年、「新舞踊あすか会」は、一宮市社会福祉協議会尾西支部の推薦により、長年の功績が認められ、厚生労働大臣賞を受賞しました。これに満足せず、これからも市民の方々に感動と満足を味わっていただけるような踊りを目指し、精進していきたいと考えています。今年も十一月十八日(土)、十九日(日)に開催する「尾西芸能祭」に出演予定です。会場は一宮市尾西市民会館です。是非ご来場ください。



尾西芸能祭(平成28年)

一宮市芸術文化協会役員

※7・8ページに加入団体一覧表を記載します。

役員名		氏名	備考(部門/団体名)
名誉会長	中野正康	中野正康	一宮市長
会長	加藤昌義	加藤昌義	茶道部門/同派会
副会長	不破 皓	不破 皓	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
副会長	小島祥子	小島祥子	声楽・合唱部門/一宮音楽家協会
会計	不破 務	不破 務	舞踊部門/新舞踊あすか会
監事	夫馬 勲	夫馬 勲	写真部門/一宮写真協会
監事	鶴飼輝子	鶴飼輝子	吟剣詩舞部門/柳翠吟詩舞道会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部門
			○		部長
青木小代子	山本範子	加藤照子	坂井 齊	川合順夫	氏名
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名

文社化部会		芸能部		音楽部						美術部					部	
華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	吹奏楽・管弦楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
	○	○				○								○		部長
野々村京子	岩田宗晋	木全 修	花柳こま希久	浅井英仁	不破清子	久野以早夫	高間加代子	森 恒夫	水谷富士雄	安藤治仁	川浦碧濤	鶴飼辰郎	三輪清弘	丹羽桃慶		氏名
一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	琴伝流大正琴稀会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 / デザイン・工芸部 彫塑部	一宮美術作家協会 / 洋画部	桃墨会		団体名

(敬称略)

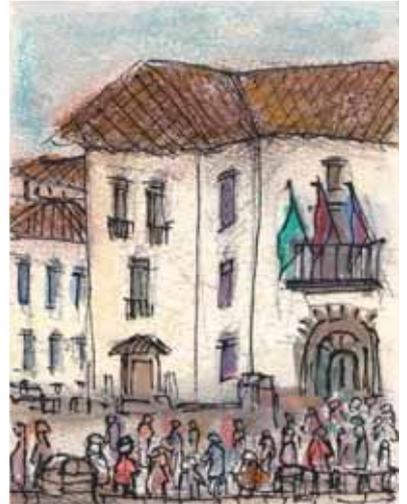
加 入 団 体 一 覧

(平成29年5月現在)

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所	
文学部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館	
		葉 栗 俳 句 教 室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館	
		き き よ う の 会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 大志公民館	
		千 秋 俳 句 ク ラ ブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館	
		神 山 女 性 句 会	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 神山公民館	
		牡 丹 句 会	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター	
		尾 西 み な み 俳 句 会	毎月第1金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター	
		仏 手 柑 俳 句 会	毎月第2日曜日：午後2時30分～ 応蓮寺	
	尾 西 新 樹 会	毎月第1月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター		
	川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。		
	一 宮 漢 詩 瀟 聲 會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館		
美術部	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。	
		桃 墨 会	毎月第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター、第2・4土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター	
	洋 画 部 門	尾 西 作 家 協 会	事務局へお問合せください。	
		一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。	
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター	
		水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター	
		グ ル ー プ 絵 ぞ こ ろ 三 美 会	毎月第1・2・3木曜日：午後1時～ 小信中島公民館	
		楽 し く 描 こ う 会	毎月第2・4土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター	
		尾 彩	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター	
		ポ ピ ー の 会	毎週水曜日 講師宅	
		尾 西 ガ リ バ ン パ ン の 会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター	
		パ レ ッ ト 会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター	
		木 曾 川 絵 画 同 好 会	毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館	
		ブル シ ャ ン ブ ル ー	毎月第1・3木曜日：午後1時30分～ 尾西南部生涯学習センター	
		イ エ ロ ー オ ー カ ー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター	
		山 ぶ ど う の 会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		土 筆 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		あ ざ み の 会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター	
		花 畑	毎月第2水曜日：午前9時30分～ 北方公民館	
		ゆ ず の 会	毎月第1・3金曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		び く ー る ア ー ト サ ー ク ル	毎月第1・3土曜日（どちらかの時もあり）：午後 アイブラザー宮	
		グ ル ー プ 創	毎月第2・3・4火曜日：午後6時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	デ ザ イン ・ 工 芸 彫 塑 部 門	一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。	
		陶 順 会	毎週月・火・金・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター	
		尾 張 も め ん 伝 承 会	毎月第4日曜日：午後2時～ 尾張一宮駅前ビル（i-ビル）	
		尾 西 面 打 会	毎月第1・3土曜日：午前9時～ 旧湊屋文右衛門邸湊屋	
	書 部 門	一 面 会 会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ アイブラザー宮	
		公 益 社 団 法 人 中 部 日 本 書 道 会 一 宮 支 部	事務局へお問合せください。	
		麗 筆 会	事務局へお問合せください。	
	音 楽 部	邦 楽 部 門	日 中 古 墨 書 道 友 好 協 会 尾 張 支 部	毎月第2・4水曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			一 宮 写 真 協 会	事務局へお問合せください。
			一 宮 三 曲 協 会	事務局へお問合せください。
			三 山 会	毎週土曜日：午後2時～ 講師宅
			里 音 会	毎週土曜日：午後3時～ 講師宅
す み れ 箏 の 会	(随時) 講師宅			
美 友 会	(随時) 講師宅			

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
音 楽 部	邦 楽 部 門	藤 乃 会	(随時) 講師宅
		三 味 線 民 謡 熹 世 智 会	毎月第1・3木曜日:午前9時～、第2・4木曜日:午前10時～ 小信中島公民館
		津 軽 三 味 線 恋 糸	(随時) 講師宅
	謡 曲 部 門	一 宮 三 味 線 川 崎 会	毎週金曜日:午前9時15分～ 講師宅
		相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日:午後6時～ 名鉄百貨店一宮店
		竹 石 会	毎月第1・3金曜日:午後1時～ 真清田神社
		誠 諷 ・ 緑 風 会	毎月第1・3水曜日:午後1時30分～ 島村公民館、第2・4月曜日:午前9時30分～ 河端公民館、第2・4金曜日:午後1時～ ききょう会館
		清 宵 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日:午後1時～ 宮西公民館
		丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日:午後6時30分～ 丹陽公民館
		紅 韻 会	毎週月・木・土曜日:午前10時～ 講師宅
	吟 剣 詩 舞 部 門	一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日:午後7時～ 尾西生涯学習センター、土曜日:午前10時～ 尾西文化広場
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	毎月第1・3金曜日:午後1時～ 小信中島つどいの里、毎月第2・4金曜日:午後1時～ 小信中島公民館
		柳 翠 剣 詩 舞 道 会	毎週金曜日:午後1時～ 小信中島公民館 他
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	山 瑩 会	週1回 山瑩会教室 他
		一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日:午後7時～ カトリック一宮教会
	器 楽 部 門	佳 富 士 会	毎月第2・4土曜日:午後1時～ 尾西生涯学習センター
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	毎週金・土曜日:午後1時～ 尾西文化広場
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 女 会	毎週火曜日:午前10時～ 三条・渡由宅、金曜日:午前10時～ 開明公民館
		安 美 & コ ン プ リ オ	(随時) 講師宅
		木 曾 川 ラ イ ト ソ ン グ ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日:午後7時～ 木曾川公民館
吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	特 定 非 営 利 活 動 法 人 旭 雅 楽 会	毎月1、15、28日及び第2・4日曜日:午後6時～ 尾張猿田彦神社	
	一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日:午後5時～ 一宮スポーツ文化センター	
	尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日:午後5時～ 尾西生涯学習センター	
	一 宮 シ テ ィ 合 奏 団	毎月第2土曜日:午後6時30分～ 中日新聞一宮支局、第4日曜日:午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
芸 能 部	き そ が わ ポ ッ プ ス バ ン ド	毎月第2～5日曜日:午後5時30分～ 木曾川公民館	
	舞 踊 部 門	一 宮 舞 踊 協 会	事務局へお問合せください。
		新 舞 踊 あ す か 会	毎週水曜日:午後6時～ 起つどいの里
		坂 東 流 百 喜 久 会	月2回 木曜日:午後1時～ 講師宅
		坂 東 流 百 の 会	月2回 木曜日:午前9時～ 尾西文化広場
		扇 寿 々 会	毎週火曜日:午後1時～ 大志公民館
芳 美 会	毎週月曜日:午前9時30分～ 午後5時30分～ 向山公民館		
芸 能 部 門	一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。	
社 会 部	茶 道 部 門	同 派 会	事務局へお問合せください。
		弥 生 会	事務局へお問合せください。
		茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。
		茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。
		表 千 家 尾 西 玉 香 会	月3回 火曜日:午後2時～ 講師宅、金曜日:午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
		尾 西 表 千 家 木 野 (文) 会	毎週土曜日:午後2時～ 講師宅
		尾 西 緑 寿 会	月3回 金曜日:午後4時～、土曜日:午後1時30分～ 講師宅
		尾 西 清 真 会	毎週火曜日:午後1時30分～ 講師宅
		裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中	毎週月・水曜日:午後6時～、土曜日:午前9時30分～ 講師宅、日曜日:午後2時～ 火・金曜日:午後1時～ たんぽぽランドハウス
		松 風 会	毎週水曜日:午後5時～ 講師宅
	裏 千 家 白 河 社 中	毎週日・土曜日:午前9時～ 午後3時～、毎週木曜日:午後5時～ 講師宅	
	華 道 部 門	裏 千 家 住 田 社 中	(随時) 講師宅
		一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。
		池 坊 尾 西 玉 香 会	月3回 火曜日:午後2時～ 講師宅
		尾 西 小 原 流 算 社 中	月3回 金曜日:午後4時～、土曜日:午後1時30分～ 講師宅
		尾 西 池 坊 木 野 (文) 会	月3回 土曜日:午後2時～ 講師宅
小 原 流 紫 苑 会		毎週木曜日:午前10時～、土曜日:午後2時～ 講師宅	
尾 西 花 紘 会	毎月第4日曜日:午前10時～ 尾西生涯学習センター		

文化情報



「モロッコの広場」 松岡 彩子

《市および市内公共施設の催し予定》

※一宮市博物館・三岸節子記念美術館
・尾西歴史民俗資料館について
○入館は午後4時30分まで
○月曜休館(月曜日が休日の場合は開館)、休日の翌日休館

一宮市博物館

☎(46)3215

夏季小展示「なで穴があつての夏」

日時 7月15日(土)～8月27日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 遺跡から出土した昔の人々の道具の中から、穴のあいているものだけをまとめて紹介します。

観覧料 無料

企画展「2017一宮美術作家協会展」

日時 9月2日(土)～17日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 一宮美術作家協会会員による、最新の発想でイメージの試作を展開した絵画、彫刻・立体、デザイン、工芸の力作を展示します。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

特別展「丸木スマ展」

日時 7月1日(土)～8月13日(日)

午前9時～午後5時

内容 「原爆の凶」で知られる丸木位里の母の丸木スマが、身近な動物や四季の移り変わりを自由な創造力で描いた作品の数々をご紹介します。

観覧料 一般 800円

高大生 400円

※小中生・市内65歳以上無料。8月6日(日)は市外70歳以上も無料

常設展「三岸節子色彩のきらめき」

日時 7月1日(土)～9月18日(祝)

午前9時～午後5時

内容 色彩あふれる室内画や、情熱的に一つの色彩を追求した作品など、豊かな色彩感覚が発揮された代表作を中心に紹介します。

観覧料 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

※市内小中学生・65歳以上無料
※特別展会期中は特別展観覧料に含む

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

特別展「動物たちからみる 武士の時代の一宮」

日時 7月22日(土)～9月3日(日)

午前9時～午後5時

内容 今に残る動物に関する資料から、武士の時代、一宮の人たちがどのような暮らしをしていたかをご紹介します。

観覧料 無料

中央図書館

☎(72)2343

展示「西にちなんだポストの写真展」

日時 7月5日(水)～17日(祝)

午前9時～午後9時(初日は午前10時から、最終日は午後6時まで)

内容 西年にちなみ、鳥やそのほかの干支のポストの写真を展示します。

会場 6階 多目的室2

観覧料 無料(以下同じ)

展示「原爆と人間展」

日時 8月5日(土)～15日(火)

午前9時～午後9時

内容 原爆に関するパネルを展示します。

会場 6階 多目的室2

一宮市観光協会

☎(28)9131

「第62回おりもの感謝祭 一宮七夕まつり」

日時 7月27日(木)～30日(日)

午前10時～午後9時

内容 真清田神社から本町商店街をメイン会場にパレードやステージイベントを開催します。

会場 市内一円

入場料 無料(以下同じ)

「濃尾大花火」

日時 8月14日(月)

午後7時30分～8時45分

※順延の場合16日(水)
 内容 尾張地方随一の二尺玉など、約五千発の花火を打ち上げます。
 会場 濃尾大橋北木曾川河畔



『瀟聲會定例会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】
 ☎(78)79533
 日時 6月24日(土)・7月22日(土)
 午前10時〜

会場 中央図書館
 内容 漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての方向にも分かりやすく「唐詩三百首」を解読します。(初心者歓迎)
 講師 三島徹氏(東洋文化振興會 会長)

参加料 月2、000円
 申込み 当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(77)3479

日時 6月25日(日)・7月23日(日)
 8月27日(日) 午後1時〜
 会場 一宮スポーツ文化センター
 内容 自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料
 申込み 当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】
 ☎(73)5504
 日時 6月25日(日)・8月27日(日)
 午後1時〜

会場 一宮スポーツ文化センター
 内容 当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料
 申込み 当日直接会場

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】
 ☎(78)79533
 日時 7月4日(火)・9月5日(火)
 午前10時〜

会場 中央図書館
 内容 漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間でを行います。(初心者歓迎)

参加料 年3、000円

申込み 当日直接会場

『一宮市民吹奏楽団レインボーコンサート2017』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】
 ☎(44)99807
 日時 7月9日(日) 午後1時30分
 3時30分(開場は30分前)

会場 一宮市民会館
 内容 ミュージカルの名曲を演奏します。また、県立尾北高等学校ジャズアンサンブル部も一緒に演奏し、ステージを盛り上げます。
 入場料 500円 前売400円

『ファーストジョイントコンサート K&R 木曾川合唱団・ローザロッサ』

【問合せ先 一宮合唱協会木曾川合唱団】
 ☎090-3442-1946
 日時 7月9日(日) 午後2時〜
 (開場は30分前)

会場 木曾川文化会館
 内容 一宮合唱協会に所属する木曾川合唱団とローザロッサによる初めてのジョイントコンサートです。
 入場料 500円(全席自由)

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】
 ☎(51)3570
 日時 7月9日(日)・8月13日(日)

9月10日(日) 午後1時〜

会場 一宮スポーツ文化センター
 内容 真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料
 申込み 当日直接会場

『100人展』

【問合せ先 一宮写真協会】
 ☎(76)3523
 日時 7月21日(金)・23日(日)
 午前10時〜午後5時(23日は午後4時まで)

会場 一宮スポーツ文化センター
 内容 100人の会員の作品を展示します。
 入場料 無料

『花柳流こま希久会ゆかた会』

【問合せ先 一宮舞踊協会こま希久会】
 ☎(45)5498
 日時 7月23日(日) 午後0時30分
 (開場は30分前)

会場 一宮スポーツ文化センター
 内容 日舞発表会
 入場料 無料

『墨岩祇園祭保存会 墨岩祇園祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】
 ☎(85)7075
 日時 8月5日(土) 午後7時〜
 会場 石刀神社(浅井町黒岩)
 内容 わら舟を乗せた山車に提灯

を飾りつけ、お囃子とともに
に練り歩きます。

『島音楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月6日(日) 午前9時〜

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市の有形民俗文化財である
島村地区の文楽人形の虫干
しをします。

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼8月12日(土)午前9時30分〜

9月9日(土)午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により
優秀作を記録に残します。
(初心者歓迎)

参加料▼無料

『瀬部山車・白台祭保存会白台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月19日(土)午後6時30分〜

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがけ、
笛や太鼓のお囃子に合わせ
て境内をねり歩きます。

『花柳流喜美会55周年記念発表会』

【問合せ先 一宮舞踊協会喜美会】

☎(72)5660

日時▼8月27日(日) 午前10時30分

〜(開場は30分前)

会場▼一宮市民会館

内容▼「蝶の道行」「鷺娘」他二十
数演目を発表します。
入場料▼無料

★**一宮七夕まつり**
7月27日(木)〜30日(日)
一宮七夕まつり協賛事業

『狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼7月8日(土)

午後1時〜4時30分

会場▼葉栗公民館

対象▼どなたでも
参加料▼500円

『第45回学生書道展・第24回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎(77)1238

日時▼7月15日(土)・16日(日)

午前10時〜午後4時

(15日は午後1時から)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼特別出品の部、及び一般公
募の部上位入賞作品の展示

と、役員と指導者の楽しく
ユニークな小作品を展示し
ます。
入場料▼無料

『舞楽奉納』

【問合せ先 一宮真清伶人会】

☎(73)8970

日時▼7月29日(土)午後7時〜8時

会場▼服織神社(真清田神社境内)
観覧料▼無料

『写真コンテスト』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月29日(土)・30日(日)

午前10時30分〜午後2時

会場▼尾張一宮駅・名鉄一宮駅周
辺から、真清田神社までの
中心商店街

対象▼どなたでも
参加料▼無料

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎(45)4887

日時▼7月29日(土)・30日(日)

正午〜午後5時

会場▼一宮スポーツ文化センター

呈茶券▼前売券 500円

当日券 550円

『俳句大会』

【問合せ先 一宮俳句協会】

☎(73)5504

日時▼7月30日(日)

午前11時〜午後4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも
参加料▼500円

『短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼7月30日(日)

午後1時〜4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも
参加料▼500円

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎(44)9987

日時▼7月30日(日)

午後4時30分〜5時30分

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料

『手踊り』

【問合せ先 宮後住吉踊保存会】

☎(45)7300

日時▼7月30日(日)

午後6時30分〜7時

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料

いちのみや文芸

2017

作品募集

1、募集種目

① 随想・随筆 一人1編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

② 現代詩 一人1編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

③ 漢詩 絶句、一人2首以内

④ 短歌 一人8首以内
(題を付けること)

⑤ 俳句 一人10句以内
(新かな、旧かな使い
を明記のこと)

⑥ 川柳 一人10句以内

⑦ 狂俳 一人10句以内
(俳号を付けること)

2、応募上の注意

① 応募は、一人3種目以内と
します。

② 用紙は、A4判の4000字
詰原稿用紙とし、種目ごと
に別紙を用いてください。

パソコンなどを使用する場
合は、A4判白無地の用紙
を横長に用い、20字×20行
で印字してください。

③ 原稿は縦書きとし、文字は

正確に読みやすく書いてく
ださい。

④ 原稿には、欄外に種目を記
入してください。その他に
氏名、号(必要に応じて)、

年齢、住所(番地まで正確
に)、郵便番号、電話番号を
記入してください。なお、

氏名および号には振り仮名
をつけてください。

⑤ 原稿は文字のみとし、挿絵
や写真等は掲載しません。

⑥ 応募原稿は返却しません。

3、応募資格

市内在住・在勤または一宮
市芸術文化協会加入団体に所
属している人

4、作品の採否

応募作品の採否については、
編集委員が選者となり、編集
委員会で決定します。

5、応募方法

〒491-8501(住所不要)

一宮市芸術文化協会事務局
『いちのみや文芸』係(市教育
委員会生涯学習課内)までお
送りください。

平成29年7月3日(月)必着

6、発刊予定

平成29年10月28日(土)
1冊8000円(予定)

いちのみや 民俗芸能のつどい

8月20日(日) 正午～(予定)

一宮市民会館

入場無料

【出演予定団体】

石刀祭山車保存会、ばしょう踊保存会、
一宮真清伶人会、宮後住吉踊保存会、
島文楽保存会、機織唄保存会、
馬場獅子屋形打囃子保存会、
瀬部山車・白台祭保存会



一宮民俗芸能連盟の
加盟団体が市内各地
に伝わる民俗芸能を
上演します。



【題 字】 武 山 翠 屋
【編集・発行】 一宮市芸術文化協会

【連絡先】 一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213